

オープンから二か月

予想を上回る利用者数

勤労者体育センター、働く婦人の家

清滝桜が丘町に「勤労者体育センター」と「働く婦人の家」がオープンして、二か月が過ぎました。

これまで清滝地区に公共施設が、清滝公民館一つだっただけに、地域の方たちの施設に対する意識は高く、予想を上回る利用状況となっています。

まず、勤労者体育センター

は、五月中に七十六件、七百十五人の利用がありました。内訳はバドミントン二百九人、トレーニング室百四人、バスケットボール三百六十三人、以下、卓球、バレーボール、剣道などとなっています。六月に入っても利用は高く、十三日現在ですでに六百二十四人の方が利用しています。

一方、働く婦人の家の利用状況は、五月中に八十九人が利用。このうち、半数以上の四十九人が軽運動室を利用している。ジャズダンスとなっています。市では、働く婦人の家を利用しての華道教室、あみもの教室、料理教室などを用意し、これまで以上に地域の方々に気軽に利用してもらうことにしています。

福井康順氏が

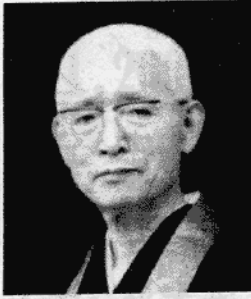
妙法院の門跡に就任

日光山輪王寺唯心院の前任職で、現任職の父、福井康順大僧上(ハニ)が、天台門跡寺院

のひとつ、京都・三十三間堂の本坊、妙法院の第四十九世門跡に就任し、六月九日、晋山式が行なわれました。

新門跡は、長野県生まれで、明治四十三年、日光山輪王寺で得度し、唯心院の徒弟となって早稲田大学に進み社会哲学科を卒業、唯心院の住職になるとともに同大学教授とな

福井康順氏



り、大正大学教授も兼務しました。この間日本学術会議会員も務め、四十七年から五十年まで大正大学学長を務めました。これらの功績で五十二年五月に勲二等瑞宝章を受賞しています。晋山式は、京都市東山区の妙法院拝庭に山田恵諦天台座主、輪王寺柴田昌源門跡、今川正彦京都市長ら三百七十人が参列して盛会を極めました。

七月十九日任期満了

となる日光市農業委員の選挙が、七月十五日、午前七時から午後六時まで市内八カ所の投票所で行われます。

今回選挙される委員は、今後三年間、農家の皆さんの代表として「農地事務の適正な処理」、「農民の利益を守る農政活動」など皆さんの農業経営や生活に直接大きな影響を与え

7月15日が投票日 農業委員会委員の選挙

- 選挙権のある方
- ① 日光市に住所を有する方
- ② 昭和五十九年三月三十一日で満二十歳に達している方
- ③ 十アール以上の耕作者またはその同居の親族と配偶者で、年間おむね六十日以上耕作に従事していると農業委員会が認められた方

社会を明るくする運動

が七月一日から三十一日まで繰り広げられます。

犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で互いに力を合わせ、明るい社会を築くことを目的に

行われるものです。

また、七月は「青少年を非行からまもる強調月間」です。

青少年が健全に育つよう、市民の皆さん一人ひとりが力を合わせ、非行のない明るい街を作りましょう。

七月は

社会を明るくする運動 青少年を非行から守る

強調月間です。

